

平成29年度 懐風館高等学校 第1回学校協議会議事録

日 時 平成29年8月2日 10:00～11:30 於：校長室

出席者 協議委員：大関・山田・南・辻本・黒川・林垣

事務局員：校長・教頭・松田・河崎・菖蒲・西原・岡本・本村・永田

議 長 大関

内容

- ・教頭（事務局長）から実施要項と委員名簿について紹介
- ・自己紹介（委員、事務局員）
- ・会長（大関）選出

1. 会長挨拶
2. 校長挨拶
3. 議案

②③平成28年度学校評価、平成29年度学校経営計画について（校長）

- ・平成28年度の学校教育自己診断において、遅刻生徒は引き続き減少している。生徒指導面落ち着いている。
- ・地域の福祉施設や保育園での吹奏楽によるが訪問演奏・交流など地域連携すすめた。
- ・専門コースとしてのカリキュラムが今年度より実質的に開始、新しい科目（サービスマラーニング）の授業もはじまった

④教科書の選定について

平成30年度使用教科書の選定について、一覧表等について説明

⑤事務局からの報告

・教務部

教育課程表（H29年度入学生）について

来年度の類型・コースの予備調査結果について

・生徒指導部

今年度遅刻はやや増加している。

懲戒は減少、しっかり学校生活を送れている生徒は増えている。

登下校の自転車の事故が増えており、HRや集会等でも指導している

・進路指導部

落ち着いて勉強できる環境はある。四大では公募推薦から何回もチャレンジし、一般入試受験者も増え、近畿大等にも合格した。

浪人生が増えたこともあり、未定者はやや増加。

生徒の学力高めるための教員の姿勢について。

・首席より

新入生むけアンケートの結果について（本校志望理由や受験決定時期など）

4. 委員からの質問や提言

・羽曳野市は歴史のある地域、文化財・歴史遺産などを学校教育に活用するなど交流をすすめてもらいたい。

・中学校では学校説明会に参加するなど自分で足を運んで、受験校を決めるよう指導している。

・高校入試を取り巻く状況についての意見交換。

・特色を出して志望者の多い人気校になって欲しい。

・中学生から見て、校則が厳しい学校であるというイメージは悪いことだろうか。

・大学も医療系やスポーツ系、芸術系、保育系の分野の志願者は減り、社会科学などの人文系志願者が増えている。高校ではどんな力をつけさせるのか。

5. 閉会挨拶（校長）